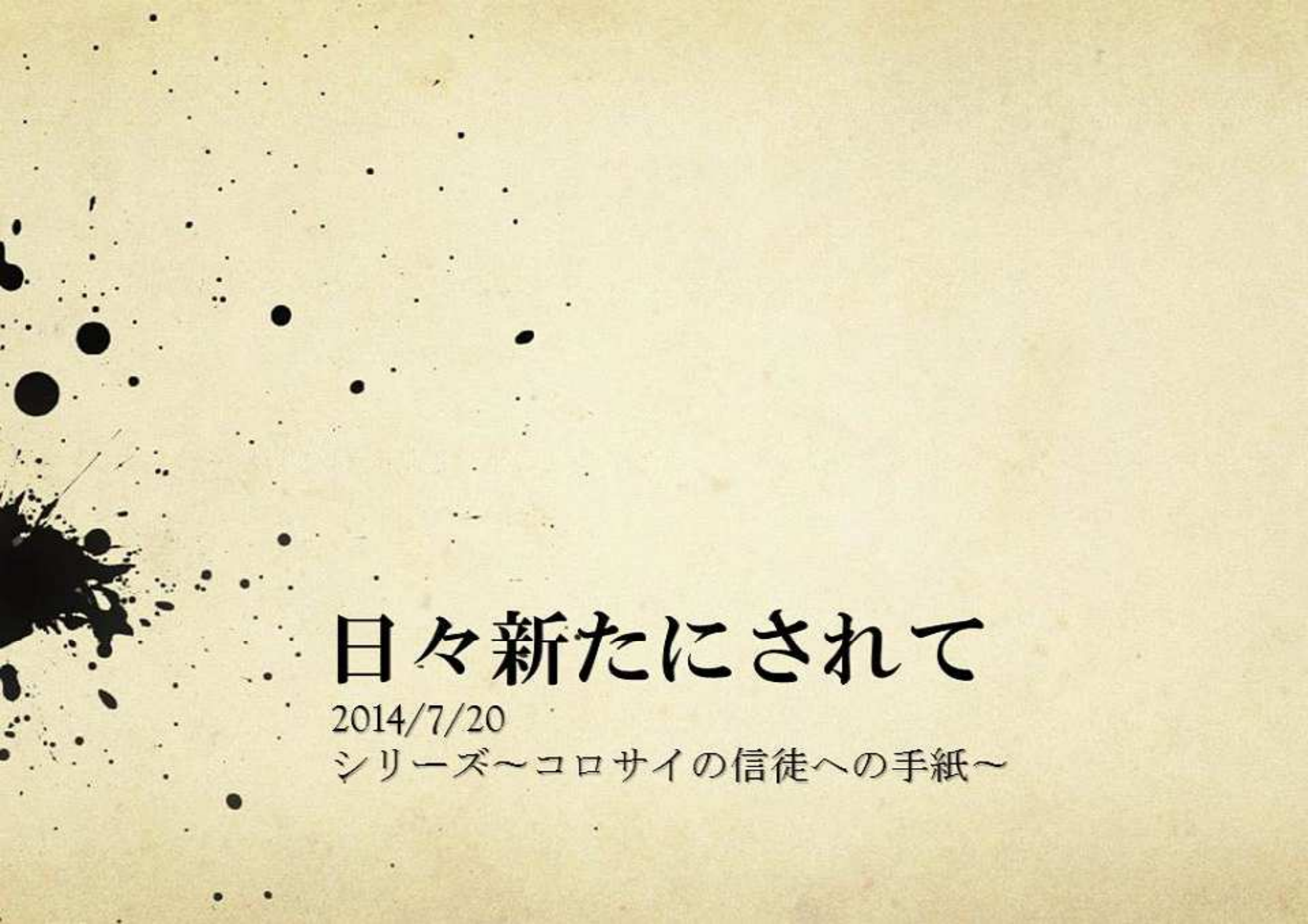




日々新たにされて

2014/7/20

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

コロサイの信徒への手紙3章5～12節

だから、地上的なもの、すなわち、みだらな行い、不潔な行い、情欲、悪い欲望、および貪欲を捨て去りなさい。貪欲は偶像礼拝にほかならない。これらのことのゆえに、神の怒りは不従順な者たちに下ります。あなたがたも、以前このようなことの中にいたときには、それに従って歩んでいました。今は、そのすべてを、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る恥ずべき言葉を捨てなさい。互いにうそをついてはなりません。

コロサイの信徒への手紙3章5～12節

古い人をその行いと共に脱ぎ捨て、造り主の姿に倣う新しい人を身に着け、日々新たにされて、真の知識に達するのです。そこには、もはや、ギリシア人とユダヤ人、割礼を受けた者と受けていない者、未開人、スキタイ人、奴隷、自由な身分の者の区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにおられるのです。あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。

捨て去るべき「地上的なもの」

- 「みだらな行い、不潔な行い、情欲」：性
 - ポルノ・売春・婚前交渉・不倫などの間違った性
 - 結婚以外の性的関係は厳禁である(姦淫)
- 「悪い欲望、および貪欲」：欲
 - 必要以上の金欲や物欲
 - 「貪欲は偶像礼拝にほかならない」
 - 現代はむしろ貪欲を正当化し、美化さえしている
- これらを「捨て去りなさい」
 - 原語では「死になさい!」
 - 「神の怒りは不従順な者たちに下ります」

捨てるべき「地上的なもの」

○ 「怒り、憤り、悪意」：心

- 正しい「怒り」(義憤)もあるが、常に怒っている
- 「憤り」のあまり人を傷つけたり、裁いたりする
- 「悪意」をもって人を陥れる

○ 「口から出る恥ずべき言葉、うそ」：言葉

- 神や人を呪ったりバカにしたりする汚い言葉

○ 「そのすべてを捨てなさい」

- 「あなたがたも、以前このようなことの中にいたときには、それに従って歩んでいました。」
 - 実は自分自身が支配されてしまう

古い人を捨て、新しい人を着る

- 「古い人をその行いと共に脱ぎ捨て」
 - 「信仰」と「行い」を分離する間違った教えに対して
 - 「行い」によって救われるのではないが、「行い」は変わってゆくべきである
- 「造り主の姿に倣う新しい人を身に着け」
 - もともと造り主に「似せて」造られたのだが、その自由を間違って使ってしまった
 - 本来の造り主の姿を身に付ける(後述)
- 「日々新たにされて、真の知識に達するのです。」
 - 「ひとクラス上のグノーシス(知識)」を目指す

新しい人はみな平等

- 「そこには、もはや、ギリシア人とユダヤ人、割礼を受けた者と受けていない者、未開人、スキタイ人、奴隸、自由な身分の者の区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにおられるのです。」
- 物として売買されていた「奴隸」も、キリストによって同じ人間である、と宣言した画期的な教え！
- 今も根強く残る人種差別や、性差別、身分制度に対するメッセージ

身に付けるべき「造り主の姿」

- 「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。」
- 「神に選ばれた」：自分の力で救われたのではない
- 「聖なる者とされ」：キリストの十字架によって
- 「愛されている」：わが子同然に
- 「**憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容**」
 - 「憐れみの心」：わが子への愛情、「慈愛」：深い同情心、「謙遜」：仕える気持ち、「柔和」：心の穏やかさ、「寛容」：心の広さ

古い人をその行いと共に脱ぎ
捨て、造り主の姿に倣う新しい人
を身に着け、日々新たにされて、
真の知識に達するのです。

